

若者の金融市場への積極的参加に向けた教育手法の研究

商学部
経営・流通学科
准教授

平川 幹和子 CFP®



研究シーズの紹介

労働収入と不労収入は、実は同じところから出ているお金です。企業活動によって得たお金は、そこで働いている人には給与として、そこに資本を投入している人には配当として、分配されます。ICTの広まりによって今や企業活動は小さな範囲から大きな範囲へと広がっています。企業は世界各国をマーケットとし、利益を得ています。ではなぜ、不労収入を世界から

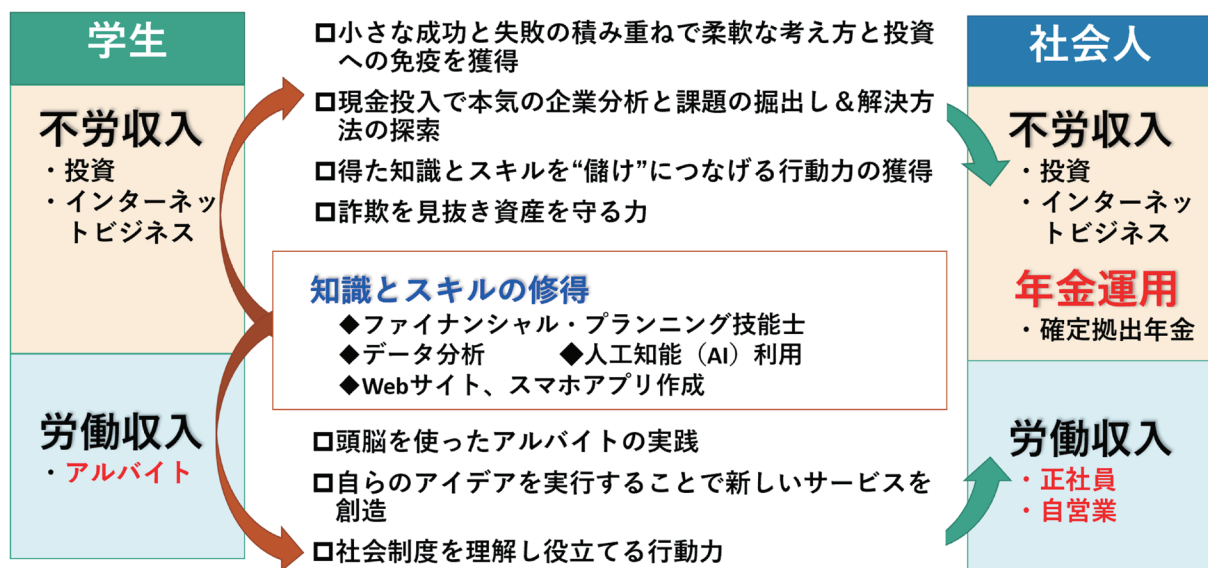
得ようとしないのでしょ?勤務する企業が一つでも、投資によって複数の企業のオーナーになれます。世界中の儲かっている企業の益を日本にいながら得ることが可能なのです。

本研究では、若者が日本国内だけでなく世界に目を向けて自分の資産を形成していくために何が必要かを探り、実生活とリンクさせた投資教育を実行します。



FP知識を学び、
学生のうちから実投資

- 労働&不労収入の早期確立により安定した生活を設計できます。
- 日本に居ながら世界の富を手にする手段を身につけられます。



期待される活用シーン

- 金融市場に若者を招くにはどうすればいい?
- うちの会社の次に進むべき道はどちら?

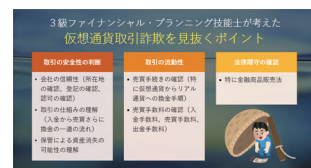
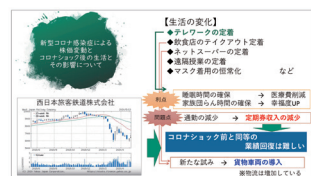


若者が金融市場を敬遠する要因を排除し、10年・20年後を見据えた若者視点の分析で企業を活性化。

- 投資をやってみたくて失敗するのが怖い。
- 余裕をもった楽しい生活を送りたい。



きちんとした知識とスキルを学び、実際に投資をすることで、時を味方につけた資産形成が行えます。



その他の研究テーマ

- インターネットでのビジネス展開に関するICT活用支援に関する研究
- 商学部学生へのプログラミング教育における新規ビジネス創生および起業への効果について